



昨年からはまったCSOマタキタクナル主催の野外ライブイベント『もりあがらナイト2015』が8月9日、多久市物産館「朋来庵」南側自由広場で開催されました。

今年は音楽だけでなくフラダンスチームも出演、より魅力を増したイベントに会場は暑さを吹き飛ばす熱気に包まれました。

オープニングは、こだわりのビートルズバンド、『THE B-MOTIONS』。見た目もそっくり?!MCもバッチリ!のパフォーマンスを見せました。暮れなずむ空に篝火の火の粉が舞う中、登場したのは、『ヒサコフラスタジオ』のメンバー。しなやかな指先・手首の動きとステップにフラの癒しとタヒチの情熱を感じました。「多久の歌」を作り、FM佐賀「Hello! 多久」のパーソナリティを務める『池田隆臣』さん。「もりあがらナイト」という新たな楽曲も披露され、この日一番の盛り上がりを見せました。『古賀直樹』さんは、サザンのカバー曲などを披露、しっとりとした温かく優しい歌声で観客を魅了しました。

ステージ前では、手拍子や体でリズムを取ったり踊ったりと思い思いにライブを楽しむ観客の姿がありました。

▶ハワイの風「ヒサコフラスタジオ」のメンバー



「もりあがらナイト2015」

LIVE サイコー! 多久 最高!

まちの話題

まちの話題をお寄せください!!

情報課 広報広聴係 ☎75-2280 / FAX 75-2110

▶テントを設営する子どもたち



夏! 恒例の「夏休み教育キャンプin船山2015」を8月6日(木)から8日(土)の2泊3日、船山キャンプ場で開催しました。昨年は、台風が直撃するという予報があったため、中止となりましたが、今年は、市内3校の4年生～6年生18人が参加しました。

子どもたちは、ボランティアで参加した多久市児童愛護班や多久市子どもクラブ連合会員などから指導を受けながら、野営のため、テント設営や野外炊飯など、非日常にチャレンジしました。

また、自然体験活動では、竹とんぼ、水鉄砲、サヌカイト石による弓矢の矢じりなどをつくり、船山の自然の中で、仲間たちと一緒に汗をかきながら遊びました。

キャンプのイベントのひとつである「キャンプファイヤー」では、幻想的な炎光の中で歌やレクリエーションを楽しみました。

参加した子どもたちは、「飯ごうでご飯が炊けるようになった」「楽しかった。また参加したい」などと、話しながら元気に船山キャンプ場をあとにしました。

▶メインイベントの「キャンプファイヤー」の様子



自然と親しみ、仲間と楽しむキャンプ体験

「夏休み教育キャンプin船山2015」

8/1 Sat.

みんなで絆を深めよう



西多久町子どもクラブ泊研修(西多久町子どもクラブ連合会主催)が西多久公民館で開催され、西多久町に住む1年生から9年生までの子どもたち40人が参加しました。地域を深く知り、仲間と強い絆を持つてもらうことを目的に行われており、今年で4回目を迎えます。

夕食のカレー作りは4年生以上が担当し、約1時間で約50人分のカレーを作りました。

夕食後は、すいか割りや映画鑑賞で、楽しい時間を過ごしました。

連合会会長の諸江さんは、「大人になって外へ出てても故郷や友人を大事にしてくれるような思い出になれば」と語りました。

7/28 Tue.

みんなで楽しく作ろう!



調理実習を通し子どもたちの給食への理解を深める「給食センター1日体験」が同センターで行われました。

市内各学校の4年生45人が参加、3班に分かれ「多久いっぱい夏野菜カレー」、焼きとうもろこし、フルーツゼリー作り挑戦しました。

開会では橋本善充所長が「4年生しか参加できない貴重な体験です」と挨拶。その後、子どもたちは熱気がこもる調理室に入り、調理員からスライサーやスチームコンベクションオーブンなどの機器の説明や指導を受けながら仲良く協力して150食分を完成させました。料理は、南多久公民館で関係者一同会食しました。